

佐伯市民大学「令和四教堂」講座によせて



佐伯市民大学「令和四教堂」学長

村上 憲郎

1947年大分県佐伯市生まれ。京都大学で工学士号を取得。2003年4月、Google米国本社 副社長兼Google Japan 代表取締役社長としてGoogleに入社。日本におけるGoogle企業活動の責任者を務める。2008年 Google Japan 名誉会長就任。2013年 Google Japan 名誉会長兼副社長、村上憲郎事務所開設。

地方創生の重要性が叫ばれて久しい昨今、佐伯市においても、その特徴を活かした自律的で持続的な地域社会を創生していく必要が高まっています。

佐伯市では令和3年2月に「佐伯市民大学「令和四教堂」」を開設しました。

「ローカルでありながらグローバル」という考えの下、市民が幅広い分野で学び、本市が抱える様々な課題や社会情勢の変化に対応し、「さいき7つの創生」を推進する「佐伯人(さいきのび)」の育成を目的としています。

「令和四教堂」は、佐伯藩8代目藩主・毛利高綱(もうりたかすえ)が1777年に開講した藩校「四教堂(しこうどう)」にちなんで各つけられました。「四教」とは、論語にある「文(学問)・行(徳行)・忠(忠実)・信(誠信)」と言われており、藩内外から多くの生徒が学んだとされています。

時代が変わってもなお、この「令和四教堂」が市内内外から多くの人が学び、地域力を再発見していく場となることを願っています。

講座の目的

佐伯市内外在住問わず、地域創生の学びに関心を持つ人々を対象に、自然と人と地域共同体のかかわりに関する思想や哲学を基盤とし、「さいき7つの創生」にかかわる分野を総合的に学習する講座を実施することにより、内発的で持続可能な地域の発展に寄与する価値観と行動力を持つ人材の育成を行います。

*内容的な観点とは「伝統の再創造」であると社会学者の鶴見和子は定義しています。

講座の特徴

まずは招へい講師による講座の前に、講師の著作や論文、記事等を読み込む講座(1~2講座)をおこない、内容に対する自分の考え方や立ち位置を思考してもらいます。招へい講師の講座では、講師からの主要なメッセージを受け取ったのち、主に質疑応答や地域の文脈における議論などが主になります。

3年目のR6年度4月の講座から5か月間は、受講生の関心あるテーマ別のグループ形成を促し、自主的なグループ研究活動を地元学会のメンバーや講座コーディネーターがサポート。

3年間の学びの集大成としてR6年9月に、グループ研究発表会を実施。行政や地域の方、一般市民からの評価をいただく予定です。



後期講師陣も続々決定 (未定者あり)

 小谷 純久 (元 気象庁長官) (九州大学工学部防災環境社会部門 特別教授)	 古川 保 (建築家)
 島谷 幸弘 (九州大学工学部防災環境社会部門 特別教授)	 辻 誠一郎 (歴史学専攻准教授)
 辻 信一 (文化人類学者)	 藤谷 浩介 (日本総合研究所 首席研究員)
 杉浦 嘉雄 (日本文科大学 名誉教授)	

佐伯市民大学・令和四教堂の講座は、「地元学の会」が運営しています！

水俣で生まれた地元学の手法で地域に埋もれた宝を見出し、地域力を再発見する学びを軸とした市民大学講座を運営するために結成された会です。地元学とは「ないものねだりを やめどもあるのを探し、地域の持っている力、人の持っている力を引き出し、あるものを新しく組み合わせ、ものづくり、生活づくり、地域づくりに役立てていく」という思想を軸とし、それぞれの風土と暮らしの成り立ちの物語という個性を確立し、大地と人と自分に対する信頼を取り戻し、自分たちでやる力を身につけていく学びです。

<p>参加費</p> <p>□ 1 講座ごとの場合 1,000円(税込) → 会場にて現金支払い</p> <p>□ 前期会納 (15回) 12,000円(税込) → 指定口座へ、事前に入金いただけます。</p> <p><small>*お申し込みは、お申込み後にお知らせします。 *卒業生の参加は無料です。 *当日申し込みは原則受け付けません。</small></p>	<p>お申し込み</p> <p>QRコードより Googleフォームにて</p> <p>FaceBook 公式ホームページ</p> <p>QRコード</p>	<p>お問い合わせ</p> <p>メール saki.jimotogaku@gmail.com</p> <p>地元学の会 事務局 Tel.0972-48-9293 大分県佐伯市戸次1040-1</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地元学の会

佐伯市民大学 令和四教堂

前期・講座プログラム
令和3年12月~令和5年3月

地域力の再発見！

自然と人と地域を紡ぎなおす学び。

First term Instructors

講師タイトル

SDGsの物語をつくる

宮沢賢治の自然観と「祖母・榎・大崩ユネスコエコパーク」

野生の力で今を生き抜く

未来社会のデザインを語ろう

佐伯市民大学 支援事業

市民大学講座の構成

前期 (2021年12月～2023年3月)

12月の第1回講座(プロローグ)で、まず「地域力の再発見」のテーマを支えている「内発的発展論」の学習から始まり、佐伯市宇目を含む祖母・楨・大崩ユネスコエコパークという国際的に認知された貴重な自然資源の保全と活用の学習が続き、さらに「自然と人と地域」の関係性や、人間の精神性(スピリチュアリティ)、思想、歴史、哲学、自然の分野の専門家から多面的に学びます。

後期 (2023年4月～2024年9月)

より現実的な地域や社会の課題(温暖化対策、住環境、自然環境、ライフスタイル、河川環境)について、持続可能性を視野に取り組み方法を様々な専門の講師から学びます。

前期・後期を通して

2024年3月までは内発的で持続可能な社会づくりのための、**価値観を形成するプログラム**。
2024年4月から最終月の9月までは、**行動力の形成を目指すプログラム**として、2年間半の学習の成果として、受講者自身による「地域力」を再発見するためのグループ研究プロジェクトの立ち上げ、最終発表のためのワークショップを予定しています。

全て参加することで、
すべてが繋がります!

前期 スケジュールと講師と課題

日程	さいき7つの創生にかかると分野	講師
2021年12月 26日	自然・生活環境、保健医療福祉、教育文化、まちづくり	プロローグ 岩佐礼子
2022年 1月 16日	自然・生活環境、産業振興、まちづくり、地域活性化	講義 杉浦嘉雄
2月 20日	自然・生活環境、産業振興、まちづくり、地域活性化	野外実習 杉浦嘉雄
3月 20日	自然・生活環境、産業振興、まちづくり、地域活性化	講義 杉浦嘉雄
4月 24日		予習講義 岩佐礼子
5月 22日		予習講義 岩佐礼子
6月 19日	自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化	講義 鬼頭秀一
8月 21日		予習講義 岩佐礼子
9月 18日	自然・生活環境、保健医療福祉	講義 川原一之
10月 23日		予習講義 岩佐礼子
11月 20日		予習講義 岩佐礼子
12月 11日	自然・生活環境、産業振興、まちづくり	講義 内山節
2023年 1月 22日		予習講義 岩佐礼子
2月 26日	教育文化	講義 星野文雄
3月 19日	教育文化	講義 深津高子

講師紹介(前期)

講師/杉浦嘉雄 (日本文理大学名誉教授)



1953年、岐阜県大垣市生まれ。専門分野は、環境保護・環境教育。2020年3月まで日本文理大学工学部建築学科「環境・地域共生コース」教授。生物多様性をテーマにした持続可能な地域づくり、生物教育、自然体験活動などを継続的に実施。持続的発展理念に伴う野生生物の個体に関する研究、野鳥を主題にした環境教育や自然体験活動の子どもの心身の発達や発達障害に関する研究、「自然のインターフェイス(界面)」という視点から考察する自然環境の作品研究など行う。日本生態系学会、日本鳥獣保護推進、日本森林保護学会、筑波研究学舎など所属。祖母・楨・大崩ユネスコエコパーク推進協議会会長。

講師/鬼頭秀一 (東京大学名誉教授)



1951年名古屋生まれ。専門分野は、環境倫理学・科学技術社会論、山口学、青春公立大学、東京農工大学、東京大学を経て2021年まで星城大学副学長を務めた。生物多様性保全や自然再生、地域社会との関係、持続可能な社会の構築にかかわる理念的探究、自然山地など数多くの「現場」を歩きつつ、ローカルでかつ普遍的な「環境倫理」を「現場」から構築してきた。日本ユネスコ国内委員会自然遺産・委員会・人間と生物圏計画(MAB)分科会副委員長、日本学術会議環境委員会、環境社会学会会長、地球システム・倫理学会副会長などを歴任。

講師/川原一之 (宮崎大学客員教授・記録作家)



1947年、福岡市生まれ。早稲田大学卒業後、69年に朝日新聞社入社。退社後、75年に公益会社経営者の支援活動に加わり、84年に「アジア社業ネットワーク」を結成し、アジア各国の経済発展の調査・対策にあたる。著書に「海士むらさき文」と「文明と018」シリーズ(1888執筆書)ほか。2017年「第3回国民文化祭」において018「プレイベント」における佐伯市の「祖母・楨・大崩ユネスコエコパーク」講座の講師を務める。現在朝日新聞東京版で土居久を公営事件も含め、環境や歴史的文脈から捉えらるる異議論者「初音の鳥」に力を注いでいる。

講座内容(前期)

注：会場と時間は受講者の申し込み人数によって変更の可能性があり、講座の1か月前に決定しますのでウェブページへ掲載します。
ご利用いただける方は、事務局メールアドレスまたは電話へお問い合わせください。

※後日、講座内容をネット配信予定。日時:Facebook公式ページより告知。


講座 ① プロローグ
『地域力の再発見』から柳田国男と南方熊楠の内発的発展論を紐解く

日時: 2021年12月26日(日) 午後3時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: あまべ文化研究所 代表 岩佐礼子
(講座コーディネータ 兼 講師)

1

講師/内山節 (哲学者)


Course 12



日本を代表する哲学者。1970年代から東京と群馬県上野村の一重生活を続けながら、在野で、存在論、労働論、自然哲学、時間論において独自の思想を展開する。立教大学大学院東洋文化コミュニケーション学専攻主任教授や東京大学大学院人文社会系研究科兼任講師を歴任し、2016年3月まで立教大学21世紀社会デザイン研究科教授を務めた。著書に『新・幸福論 近未来の倫理と道徳』、『鳥』という思想。『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』、『文明の災厄』ほか。2015年春に『山田節著作集』(講文館)全15巻が刊行されている。

講師/星野文雄(羽黒山伏) 山伏名: 高文

Course 14



1946年山形県出羽三山町黒山宿(「大聖坊」)に生まれる。1971年「大聖坊」十三代目を継承。2007年、「冬の日」を以て、松聖を敎め、羽黒山伏兼高伏「嵐巻松」となる。出羽三山神社責任役員理事、NPO法人公益のふるさとづくり理事。千人以上の行者を先導しながら山伏修行に尽力。海外交流を重ねる外国人の修行を導く。赤目・山伏の知識を海外で学ぶ方法を「伝道士」として展開。道徳と「野生の力」を取り戻せ-羽黒山伏に学ぶ活きたるの「関心」に向き合う智慧がある。2021年、NHK「ETV」特撮山伏、雲(れい)を駆ける-新約の「出羽三山」から、出演。

講師/深津高子 (国際モンテッソーリ協会理事・保育環境アドバイザー)

Course 15



1980年代、タイ/カオシヤン国境にてインドシナ難民の救済活動中、恒久的な平和構築の方法としてモンテッソーリ教育に出会う。帰国後は資格を取得し、モンテッソーリスクールに勤務。現在は、全国で保育のアドバイザーや、講演活動、翻訳・創作などを通して、モンテッソーリのメッセージ「平和は子どもから始まる」を伝えている。元国際モンテッソーリ協会理事、ピースボート「おまじこ」の旗、アドバイザー。

講師/岩佐礼子 (あまべ文化研究所代表)

Prologue



1977年に佐伯城南高校卒業後、明治学院大学で仏文学を専攻し、外資系企業に就職。その後スイスのユネスコ大学に留学し、開発学の修士号取得後、国連開発計画に15年間勤務。主に緊急人道支援の専門家としてアフリカやアジア各国に赴任。帰国後東京大学で環境教育や内発的発展論を研究し、環境学の博士号を取得。2015年に「地域力の再発見」を出版。現在佐伯市のあまべ文化研究所で地域づくりに関わっている。

講座 ②
宮沢賢治に学ぶ『自然観・宇宙観』と地域づくり(ガイドス)

日時: 2022年1月16日(日) 午後3時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: 日本文理大学名誉教授 杉浦嘉雄

2

講座 ③
宮沢賢治の「内なるハードウォッチング」(実習編)
(30名限定のフィールド講座)

日時: 2022年2月20日(日) 午前9時～12時半
会場: 蒲江インターパーク付近
講師: 日本文理大学名誉教授 杉浦嘉雄

3

講座 ④
宮沢賢治の自然観と「祖母・楨・大崩ユネスコエコパーク(BR)」

4

日時: 2022年3月20日(日) 午後3時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: 日本文理大学名誉教授 杉浦嘉雄

講座 ⑤
鬼頭秀一、内山節他共著『ローカルな思想を創る』(1998農文協)に学ぶ

5

日時: 2022年4月24日(日) 午後3時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

講座 ⑥
『環境倫理3.0へ向けて-SDGsを超えて』(鬼頭秀一 著)に学ぶ

6

日時: 2022年5月22日(日) 午後3時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

講座 ⑦
SDGsの物語をつくる

7

日時: 2022年6月19日(日) 午後2時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: 東京大学名誉教授 鬼頭秀一

講座 ⑧
土呂久のドキュメンタリー番組「山嶽に咲く」に学ぶ

8

日時: 2022年8月21日(日) 午後3時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

講座 ⑨
佐伯と土呂久 一知られざる基礎歴史の歴史を学ぶ

9

日時: 2022年9月18日(日) 午後3時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: 記録作家 川原一之

講座 ⑩
内山節 著『資本主義を乗り越える』(2021 農文協)に学ぶ

10

日時: 2022年10月23日(日) 午後3時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

講座 ⑪
内山節 著『民主主義を問い直す』(2021 農文協)に学ぶ

11

日時: 2022年11月20日(日) 午後3時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

講座 ⑫
未来社会のデザインを語ろう

12

日時: 2022年12月11日(日) 午後2時半～5時
会場: さいき城山桜ホール 小ホール
講師: 哲学者 内山節

講座 ⑬
星野文雄、渡辺清乃 共著『野生の力を取り戻せ』(2021日本能率協会マネジメントセンター)に学ぶ

13

日時: 2023年1月22日(日) 午後2時半～5時
会場: さいき城山桜ホール 小ホール
講師: あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

講座 ⑭
野生の力で今を生き抜く

14

日時: 2023年2月26日(日) 午後2時半～5時
会場: さいき城山桜ホール 小ホール
講師: 羽黒山伏 星野文雄

講座 ⑮
平和は子どもから始まる

15

日時: 2023年3月19日(日) 午後3時～5時
会場: 佐伯東地区公民館 集会所
講師: 国際モンテッソーリ協会理事・保育環境アドバイザー 深津高子